

特定二十八

主よ、どうか主の民の心を奮い立たせてください。わたしたちが喜びをもってみ業にあずかり、その深い恵みによって、み助けを受けることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はゼファニア書第一章七節から」

7 主なる神の御前に沈黙せよ。

主の日は近づいている。  
主はいけにえを用意し  
呼び集められた者を屠るために聖別された。

12 そのときが来れば

わたしはともし火をかざしてエルサレムを捜し酒のおりの上に凝り固まり、心の中で

「主は幸いをも、災いをもくだされない」と言っている者を罰する。

13 彼らの財産は略奪され、家は荒れ果てる。彼らは家を建てても、住むことができず

ぶどう畑を植えても

その酒を飲むことができない。

14 主の大きいなる日は近づいている。

極めて速やかに近づいている。

聞け、主の日にあがる声を。

その日には、勇士も苦しみの叫びをあげる。

15 その日は憤りの日

苦しみと悩みの日、荒廃と滅亡の日

闇と暗黒の日、雲と濃霧の日である。

16 城壁に囲まれた町、城壁の角の高い塔に向かい

角笛が鳴り、関の声があがる日である。

わたしは人々を苦しみに遭わせ

目が見えない者のように歩かせる。

彼らが主に対して罪を犯したからだ。

彼らの血は塵のように

はらわたは糞のようにまき散らされる。

18 金も銀も彼らを救い出すことはできない。

主の憤りの日に

地上はくまなく主の熱情の火に焼き尽くされる。  
主は恐るべき破滅を  
地上に住むすべての者に臨ませられる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

## 詩編

### 第九十編

- 1 主よ、あなたは世々にわたって＝ わたしたちの住みか  
山が生まれず、地と世界が造られる前から＝ 永遠から  
永遠にあなたは神
- 2 永遠にあなたは神
- 3 あなたは人に「元に戻れ」と仰せになり＝ 人は塵に戻  
される
- 4 あなたの目には千年も、過ぎ去った昨日のよう＝ 夜回  
りの一時にすぎない
- 5 あなたは人を夢のように消し去る＝ 人は朝ごとに生え  
変わる草のよう
- 6 朝には萌え出て花を開くが＝ 夕べにはしおれて枯れ

る

7 わたしたちはあなたの怒りに焼き尽くされ＝ 激しい  
憤りに恐れおののく

8 あなたはわたしたちのどがをみ前に置き 隠れた罪をみ

顔の光であらわにされる

12 残された日々を教えることを教え＝ 知恵の心を与え  
てください

## 使徒書

朗読者 「使徒書はテサロニケの信徒への手紙Ⅰ 第五章

一節から」

1 兄弟たち、その時と時期についてあなたがたには書き記  
す必要はありません。2 盗人が夜やって来るように、主の日  
は来るということを、あなたがた自身よく知っているからで  
す。3 人々が「無事だ。安全だ」と言っているそのやさきに、  
突然、破滅が襲うのです。ちようど妊婦に産みの苦しみがやっ  
て来るのと同じで、決してそれから逃れられません。4 しか  
し、兄弟たち、あなたがたは暗闇の中にいるのではありま  
せん。ですから、主の日が、盗人のように突然あなたがたを襲  
うことはないのです。5 あなたがたはすべて光の子、昼の子  
だからです。わたしたちは、夜にも暗闇にも属していません。  
6 従って、ほかの人々のように眠っていないで、目を覚まし、

身を慎んでいきましょう。7 眠る者は夜眠り、酒に酔う者は夜酔います。8 しかし、わたしたちは昼に属していますから、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの希望を兜としてかぶり、身を慎んでいきましょう。9 神は、わたしたちを怒りに定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによる救いにあずからせるように定められたのです。10 主は、わたしたちのために死なれましたが、それは、わたしたちが、目覚めていても眠っていても、主と共に生きるようになるためです。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第二十五章十四節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

14 「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。15 それぞれの力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを預けて旅に出かけた。19 さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。20 まず、五タラント預かった者が進み出て、ほかの五タラントを差し出して言った。『御主人様、五タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに五タラントもうけました。』21 主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であつたから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』22 次に、二タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、二タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに二タラントもうけました。』23 主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であつたから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』24 ところで、一タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、25 恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』26 主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。27 それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであつた。そうしておけば、帰って来

たとき、利息付きで返してもらえたのに。28さあ、そのタラントンをこの男から取り上げて、十タラントン持っている者に与えよ。29だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。

司祭 「主に感謝」  
会衆 「主に感謝します」